

会 議 録			
令和6年度 第19採択地区教科用図書 第3回選定委員会			
招集年月日	令和6年7月17日(水)	開会場所	行田市教育委員会 2AB会議室
開閉の時刻 及び宣言者	開会 7月17日(水) 14時00分 閉会 7月17日(水) 16時00分	司会	教育指導課長
会長	行田市教育研究会長	副会長	中学校校長会長
席次番号	出席の委員	摘 要	
1	行田市教育研究会長		
2	中学校校長会長		
3	小学校校長会長		
4	行田市PTA連合会代表		
5	教育指導課長		
議 事 参 与 者			書 記
教育指導課指導主事兼主幹			教育指導課指導主事兼主幹

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	開会
会長	あいさつ
司会	議事に入る。議事の進行については、第19採択地区教科用図書選定委員会要項第9条2項により、第19採択地区教科用図書選定委員長様にお願ひする。
会長	はじめに、第19採択地区教科用図書選定委員会要項第12条により、次第（1）の「協議」は公開、（2）の「選定」は非公開といたしたいと思うが、よろしいか。  【全委員承認】
会長	事務局。傍聴される方は、来られているか。 傍聴する方がいたら、傍聴について説明し、案内をお願いします。
事務局	（事務局より傍聴人に説明する。） ※傍聴人規則の説明 ※（1）の「協議」は公開、（2）の「選定」は非公開についても説明し、説明後、2AB会議室へ案内する。  （傍聴人着席）
会長	それでは、協議に移る。これまで各自で調査研究してきたこと、前回の報告や学校からの報告等を参考に、御意見を出していただければと思う。協議の進め方は、国語から1教科ごとに進めていくことでよいか。  （賛成の意見）
会長	協議に入る。 国語について、御意見をお願いします。
B 委員	・どの教科書も、主体的・対話的で深い学びの実現を意識しており、単元の冒頭で生徒一人一人に見通しをもたせ、終末に振り返りをさせられるような工夫がしてあった。学習過程も明確に示されており、生徒が主体的に学習に取り組めるようになっている。
D 委員	・本市における学力テストの結果から、小学校・中学校において「読解力の向上」が課題となっており、読解力の向上には、読書量を増やすことが重要だと考える。各教科書において、単元に関係する本を紹介する内容が豊富であると感じた。
A 委員	・教育出版の「読むこと」教材に関する学習の手引では、「学びナビ」で系統性を明らかにしてあった。また、段階的な課題により、学習者同士が考えを比較することで協働的な学びへ展開

C 委員	<p>できるような言語活動が設定されていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光村図書は、生徒が興味をもつような現代作家の作品が多いと感じた。「読むこと」の教材文で学んだ知識や技能を生かして書く活動を行うなど、「読むこと」と「書くこと」を結び付けて、多面的な思考ができるよう工夫している。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍は、国語の学習で身に付ける力を明確に示しており、示された知識・技能の習得を踏まえて、活用的な学習を展開することができるような言語活動が配置されている。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三省堂は、グループディスカッションや質問の仕方を示したり、関連する資料を提示したりすることで、生徒の協働的な学びを促す工夫がしてある。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの教科書会社もデジタルコンテンツが充実しており、二次元コードからアクセスすることで、朗読音声の他に、作者のインタビュー等を見ることができる。教科書会社によっては、ドリル形式やゲーム形式の練習問題、生徒の作品例などのコンテンツも利用できるようになっている。</li> </ul>
会長	<p>他に国語について、意見はあるか。なければ次に移る。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>次に書写について御意見を願います。</p>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツについては、どの教科書会社も工夫が進んでいると思う。よい動きを見ながら真似してみたり、自己の課題を発見したりするにもとても参考になると思う。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうですね。光村図書は、デジタルコンテンツが圧倒的に豊富で、運筆動画や行書スイッチによるアニメーション、写真などが収録されており、幅広く活用できると感じる。</li> </ul>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三省堂は、巻末に二次元コードの一覧表が示されており、学習者自身で掲載ページとコンテンツが確認できるので活用しやすいと思う。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、今回の改定では、書写の学びを生活に生かすための題材が多く設定されていると感じる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍では、「生活に広げよう」という社会生活と関わる項目が設定されており、職場体験、年賀はがき等の必要な情報を簡潔にまとめており、社会生活との関わりをわかりやすく掲載している。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育出版では、巻末の「書式の教室」で、はがき、封筒、原稿用紙、願書を取り上げ、生活と書写との関連を図っている。さらには、『枕草子』『走れメロス』等の教科書に掲載されている文章を用いて行書と仮名の調和や配列を提示している。</li> </ul>
会長	<p>書写については以上でよろしいか。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>次に、社会について意見があれば願います。まずは地理的分野から願います。</p>

A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京書籍は、探究課題解決のための「まとめの活動」として、思考ツールを用いることで思考を可視化している。また、「探究のステップ」で各章の地理的事象を振り返りながら解決に取り組むことで、思考力、判断力、表現力等を養うことができるように工夫されていると感じた。</li> </ul>
B 委員	
C 委員	
D 委員	
会長	
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>そういった視点から私も見ていた。資料の充実はもちろん、レイアウトや構成の統一感なども、大切だと考える。帝国書院では、ユニバーサルデザインに基づいた編集、個別最適な学びを支援するデジタルコンテンツ、ジェンダーの固定観念をもたないようなイラストの配慮等の工夫が見られる。</li> </ul> <p>他に地理的分野について、意見はあるか。なければ、歴史的分野についてお願いします。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的、対話的で深い学びの実現において、学習課題の設定や見通しを生徒にもたせることが必要である。東京書籍では、単元を貫く探究課題を設け、単元のまとまりを意識して深い学びにつなげられるような構成だと感じた。また、段階を踏んで探究課題を解決できるよう、1時間ごとの学習課題と1時間の振り返り、単元を振り返る活動が設けられている。</li> </ul>
D 委員	
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校との接続も重要だと思う。教育出版は、小学校の学習との繋がりが大切にされており、同じキャラクターの使用や小学校の学習の復習として「歴史ゲームで遊ぼう」が設定されている。</li> </ul>
C 委員	

会長	<p>あると感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史実に対する理解を促すだけでなく、生徒の興味関心を高めるといふ点において、資料の充実が大切だと考えるが、その点について意見はあるか。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの教科書会社も資料が充実している。東京書籍は動画や画像のコンテンツが充実していた。クイズなどもあり、生徒が楽しみながら理解を深められると感じた。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文教出版は、ポートフォリオやイントロダクションムービー等の資料が充実しており、学習意欲の向上につながっている。</li> </ul>
会長	<p>他に歴史的分野について、意見はあるか。なければ公民的分野について願います。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由社は、公民学習に重要な事柄を複数の単元で重ねて学習できるようにしており、理解を深められるような工夫が見られる。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育鵬社は、見開きで「何を学ぶのか」が明確になっており、見通しをもって学習が進められるよう考慮されている。各章の章末には、その章で学習した内容を踏まえて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察する課題が設定されており、学びを広げる工夫がされていると感じた。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育出版は、生徒の興味関心を喚起するコラムが多数掲載されており、視点を変えたり、視野を広げたりといった多面的・多角的な見方を身に付ける工夫がされている。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民的分野においては、主権者教育の視点も大切だと考える。東京書籍は、現代的な諸課題を自分事として捉えられるよう、持続可能な社会の形成を意識しながら学べる工夫がされている。また「18歳へのステップ」といったコーナーを通じて、主権者意識を高め、主体的に社会に参画する態度についても考えさせている。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その点で言うと、帝国書院は、現代社会に見られる様々な課題が設定されている。様々な立場を理解しながら対話的な学習が設定されており、自分事として社会の課題について考える態度を育むことができると感じた。</li> </ul>
会長	<p>他に公民的分野について、意見はあるか。なければ、地図分野について願います。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の協議でもあったが、資料の充実は重要だと感じる。帝国書院は、971ものデジタルコンテンツが用意されており、個別最適な学びの支援がされていると感じた。</li> </ul>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍もデジタルコンテンツが充実しており、デジタル地球儀を活用して様々な視点から地球について知ることができる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が資料を使って主体的に学習できるようにしたい。そうい</li> </ul>

B 委員	<p>った意味で、東京書籍も帝国書院も、地図が読みやすくなるように折り込みページを設けて地図記号を確認しやすくしており、資料の見方や他分野での活用方法について知ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地図なので、見やすさや分かりやすさが求められる。どちらの会社についても基本図は等高段彩表現に陰影表現を合わせた立体感のある地図表現であり、文字も読みやすいUDフォントを使用している。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 東京書籍は他分野の学習に活用できる主題図や、変化や比較等を読み取りやすくするために複数の資料を組み合わせ掲載するといった社会的事象を多面的・多角的に考察できるような工夫が見られる。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 帝国書院は、歴史や公民、修学旅行など、多目的に活用できるように、修学旅行や校外学習で多く訪問する都市を中心に縮尺5万分の1の地図が14か所に設置されているという工夫が見られた。</li> </ul>
会長	<p>他に地図について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>次に、数学について御意見を願います。</p>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デジタル化が進んだ現在では、AIの進化等により「答え」に辿り着くことは容易になってきている。しかし、その答えが本当に正しいものなのか、そこから新たな課題が生まれてこないか、というところに目が向きづらくなっている。改めて、確かな学力の定着のためには、「主体的・対話的で深い学び」が重要であると考えます。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主体的な学びの動機づけとなる問題場面の設定に、各社の工夫が見られた。特に、統計資料では、東京書籍の「牛乳の販売数」の題材が生徒にとっても身近に感じられるものであった。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 報告には、日本文教出版の「説明できるかな？」や、学校図書の「説明する力をつけよう」などで、対話を通して考える場面を設けていることが挙げられている。深い学びという点では、大日本図書や、数研出版で生徒に多様な思考を促すような工夫が見られる。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自身の考えを、友達と交流する中から、確かなものにし、そのよさを振り返る中から、新たな学びへとつなげていく過程を各社とも大切にしていた。生徒の疑問を引き出し、学習のめあてや課題を明確に設定し、根拠を明確にして互いに話し合う活動を充実させることができるつくりになっていることが確認できた。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 協働的な学びから問題解決につながる体験を多く積むことで、数学好きな子供が増えることも期待できると考える。他にはいかがか。</li> </ul>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小中の接続という点では、啓林館の「学びをふりかえろう」において、小学校の復習をデジタルコンテンツでできるようになっている。</li> </ul>

A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中だけでなく、中高の接続について取り上げている教科書もあり、より発展的な課題に挑戦をしたい生徒にとっても有効である。</li> <li>・算数、数学は、系統性が強い教科であるが、積み重ねという点では、基礎基本の定着も大切にしなければならない。適用問題の充実度も大切である。</li> <li>・他に数学について、意見はあるか。なければ、次に移る。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【全委員承認】</b></p> <p>次に、理科について御意見を願います。</p>
D 委員	
会長	
会長	
A 委員	
C 委員	
D 委員	
B 委員	
会長	
D 委員	
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的に探究する活動は、理科の醍醐味であると思う。科学的に探求する学習活動の充実について、学校図書では、教科書の左側に「気づき」「課題」「仮説」「計画」「方法」「結果」「考察」「ふり返り」のマークが示され、観察・実験の過程が確認しやすく工夫されている。</li> <li>・啓林館では、様々な場面で生徒の対話例が示されており、理科の見方・考え方に気付けるような表現が見られる。</li> <li>・学校図書では、各所に「この時間の課題」「この時間の見方・考え方」が示されており、生徒の思考を手助けしている。</li> <li>・わたしは、理科で学んだことを実生活に生かすという点において、日常生活や他教科との関連を図るための工夫が大切だと思う。東京書籍では、「まちなか科学」や「お仕事図鑑」、「私たちのSDGs」などの読み物をとおして、学習内容が日常生活や社会でどのように活用されているかを紹介している。</li> <li>・学校図書においては、「SDGs」など、様々な課題に対してどのような関連があるのかを特集するページやアイコンが用意されている。</li> <li>・大日本図書の「つながる」アイコンでは、他教科の学習内容とのつながりを示している。さらに、「そのころの日本」では、とり上げた内容と同じ頃に日本で起こっていたことを紹介し、科学史と日本の歴史の連携を図っておもしろい。</li> <li>・教育出版では、「ハローサイエンス」で科学に関するコラムを、「科学者列伝」で学習内容に関わる科学者を紹介し、日常生活との関わりを際立たせ、生徒の興味関心を引く工夫がされると感じる。</li> </ul> <p>他に理科について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p> <p style="text-align: center;"><b>【全委員承認】</b></p> <p>次に、音楽について御意見を願います。まずは音楽・一般について願います。</p>
会長	
会長	
A 委員	

D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に対して主体的に考え、より幅広い価値観をもつことができるという視点から、教育芸術社においては、「学びのコンパス」が新設されている。これによって見通しをもって学習に取り組む、対話を通して自己の考えを深め、「見方・考え方」を働かせて深い学びを実現するための手立てが示されている。</li> <li>・教育芸術社では生涯にわたり音楽文化に親しむきっかけとなるよう、総合芸術であるオペラや歌舞伎の流れを受けて、中学生に比較的なじみのあるミュージカルについて新たに掲載もされている。</li> <li>・両社ともに「義務教育9年間の系統的な学びで、資質・能力を育むための学習内容の配列」があり、9年間を見通すことでカリキュラムマネジメントの推進が図られるのではないかと思う。</li> <li>・「生活や社会の中の音や音楽」では、学年に応じたテーマを基に、音や音楽と生活や社会、文化との関わりについて、段階的に視野を広げて考えられるようになっていく。音楽がどのようなもので、どのような役割を果たすのかを考えることで、国際理解や道徳的な心情を養うことができると考えられる。</li> <li>・教育出版では、「比べて学習を深める教材」が設定され、それぞれの楽曲の特徴を生かした表現を比べながら、表現の仕方を考える工夫がある。また、わが国とアジア地域における音楽を鑑賞し、聴いて感じたことを比較することで、音楽文化と豊かに関わることもできる。</li> <li>・各教科で教科等横断的な学びの大切さにも触れられているところだが、音楽ではどうか。</li> <li>・私もその視点で教科書を拝見したところ、他教科との関連を図ることで、生徒の興味・関心を高め、より深い学びにつなげることができるよう紙面の構成がされ、教科等横断的な学びの充実に結び付けられている。例えば外国語・社会・技術・道徳・国語等との関連が図られている。</li> </ul> <p>他に音楽・一般について、意見はあるか。なければ、音楽・器楽合奏についてお願いします。</p> <p><b>【全員承認】</b></p>
C 委員	
会長	
B 委員	
A 委員	
会長	
D 委員	
会長	
B 委員	
C 委員	
A 委員	
D 委員	

C 委員	<p>教材と学習が設定されていることで、楽器を介した「人と音楽とのつながり」そして「人と社会とのつながり」を生み出す取り組みについても扱われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな構成の工夫や配慮から、両社とも音楽科で身に付けられる資質・能力の三要素がバランスよく身に付けられるようにつくられていると感じる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の視点に立った紙面づくりも他教科で見られるが、音楽ではどうか。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私もその視点で教科書を拝見したところ、両社ともユニバーサルデザインへの配慮や紙、印刷、製本の工夫がある。UDフォントの使用により可読性や可視性が高まるとともに、用紙は軽さと破れにくさが考慮されている。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白さや光沢感を調整し、生徒への目の負担軽減にも配慮されているようだ。</li> </ul>
会長	<p>他に音楽・器楽合奏について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p>
会長	<p><b>【全委員承認】</b></p> <p>では、ここで、10分の休憩を入れたいと思う。</p>
会長	<p><b>【休憩】</b></p>
会長	<p>それでは、続きをはじめさせていただきます。</p>
会長	<p>美術について御意見を願います。</p>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの教科もそうだが、小学校からのつながりはとても大切である。その点で、開隆堂は1年生の教科書の巻頭で「図画工作から美術へ」というコーナーがあり、小学校での学びを振り返りながら、これから中学校の美術ではこんなことを学ぶということがよく分かる。</li> </ul>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告にもあったが、開隆堂の表紙へのこだわりは、目を見張るものがある。魅力ある表紙を思わず触りたくなり、質感を味わえる加工技術は素晴らしいと感じた。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こだわりという部分では、日本文教出版の1年生の教科書にあった「唐獅子図屏風」は、折り曲げてみることで、折れ曲がった一つの面を「扇（せん）」、扇の数を「曲（きょく）」、数える単位を「隻（せき）」ということなど、本物に近い形で学ぶことができるのは良いと感じた。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの会社も1年と2・3年に分けて、それぞれの会社の思いで編成していたが、光村図書の別冊「資料」では、基本的な用具の使い方や技法が分かりやすく解説されている。また、二次元コードから技法動画にリンクしており、とてもわかりやすいと感じた。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これはどの教科でもいえるが、育成する資質・能力と学習内容との関係を明確にすることが大切である。美術では、主体的・対話的で深い学びを実現するために、造形的な見方・考え方を</li> </ul>

A 委員	<p>働かせて、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習活動や言葉で整理したり、対象の見方や感じ方を広げたり、深めたりする言語活動が求められている。そういった活動を行うための工夫がある教科書が望ましいと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いや伝え合いなどの言語活動を行うには、まず自分の考えや思いをもつことが大切だと考える。そのためには、何を学ぶべきか明確な教科書が良いと思う。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの会社も、何を学ぶべきかといった「目標」が示され、生徒が何を考え、何をすればよいか明確なのは良い。また、日本文教出版は「表現のヒント」、光村図書は「POINT」というコーナーでアドバイスが書かれていて、迷わずに学習に取り組むことができると感じた。</li> </ul>
会長	<p>他に美術について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p>
	<p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>次に、保健体育について御意見を願います。</p>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の会議では、日常生活とのつながりが話題に上がったが、どの教科においても「現代的課題への対応」が重視されている。本市に限らず、予測困難な時代において、柔軟に対応できる力を子どもたちに身に付けさせることが求められているが、「保健体育」においても、各社それぞれの工夫がなされていた。</li> </ul>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査報告にも、学研の「自身の生活に関連させて考えられる内容になっているため、生徒が学びの必要性を感じる」、東京書籍の「日常生活での経験を振り返る発問が生徒をひきつける」などが挙げられており、現代的な課題を自分事としてとらえ、解決に向かう子供の育成を目指していることがうかがえた。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的には、どのような課題が取り上げられていたか。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「多様性の尊重」や「心の健康」が重視されているようだが、「情報リテラシー」や「新しい感染症」なども今日的な課題として取り上げられていた。大日本図書では、「熱中症の応急手当」の手順が示されており、日常生活ですぐに活用できる技能を学ぶことができる題材を取り上げていた。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>その視点では、「心肺蘇生法」についても注目した。本市では、救急救命に関する講習会を中学校2年生と3年生で実施しているが、教科書での学びと実習で身に付ける技能とが相互に働き、よい相乗効果を生み出すことが期待できる。</li> </ul>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルコンテンツが充実していた。教科書の理解が深まる動画が豊富であった。東京書籍では、「性教育」に関する動画が作成されており、指導の一助となっている。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画以外にもストレスチェックなどのシミュレーション教材やCBT形式のテストなど、それぞれの学び方に応じたコンテンツも用意されていた。</li> </ul>
会長	<p>他に保健体育について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p>
	<p><b>【全委員承認】</b></p>

会長	次に、技術について御意見を願います。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• どの教科書も、SDGsに関する内容が扱われており、世界の様々な国が解決しようとしている17の目標と技術の学習がどのようにかかわっているかをマーク等で示している。そのため、技術の学習をとおして、SDGsを意識するきっかけを作ったり、技術の学習から目標の達成について考えたりすることができ、世界的な問題に目を向けることができるようになっている。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでと同様に技術の教科書では、イラストや写真が多く使われているため、視覚から内容を理解することができる。また、最新の技術を活用している製品が載っており、「どうなっているのか」「どうつくられているのか」など生徒の興味・関心を高めるきっかけとなっている。</li> </ul>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• どの教科書会社も単元の最後には、必ず、学習してきた内容を振り返り、知識・技能の定着を確認する場が設けられている。その後、生活の中にある技術について感る場面が設けられており、生徒のこれまで獲得した「見方・考え方」を働かせながら学びを深めることができる内容となっている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 開隆堂では、「豆知識」というコーナーがあり、学習内容に関連する話題や技術への関心を高める工夫がされている。これにより学習した内容を発展させたり、次の学びにつなげたりすることができると感じる。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今回の教科書改定では、最後の部分が特に新しくなっているように感じた。東京書籍では「総合的な問題解決をしよう」、教育図書では「夢をかなえる技術」、開隆堂では「技術分野の出口」といった、「材料と加工の技術」「生物育成の技術」「エネルギー変換の技術」「情報の技術」の4つの単元が複合した内容が扱われている。3年間の学びの集大成としていろいろな考え方ができる内容であると感じた。</li> </ul>
会長	他に技術について、意見はあるか。なければ、次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、家庭について御意見を願います。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• どの教科書会社も6つの基礎食品群の内容については、カラー見開きのページとなっており、とても見やすく工夫されている。栄養素を考え、献立を立てるときに、写真からその食材が何郡の栄養素かがすぐにわかるようになっている。文字だけでは難しく感じる内容も写真があることで理解を深め安くなるように工夫している。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• イラストや写真が多く用いられ見てイメージする、考えることができるようになっている。また、二次元コードが多く用いられており、教科書の内容だけでは、足りないことを補ってくれる補足資料となっている。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各教科書会社のマークや表示が工夫されている。内容に関する</li> </ul>

C 委員	<p>ポイントを表す、マークや食品、商品、アイロン、洗濯に関するマークなど、様々なマークを紹介している。さらに、家庭科においてもSDGsについても触れられおり、技術と家庭科のつながりをもたせている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開隆堂では、「考えてみよう」「話し合ってみよう」「発表しよう」などの学習活動例があり、対話の中で考えを明確にし、広げていけるようになっていいる。課題と実践の進め方について、題材ごとに実践例がわかりやすく掲載されている。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの教科書も学習の最後に「選択 生活の課題と実践」が設けられており、これまでの学習を基にして、自らの生活における課題を解決させる内容となっており、学びを活かし、学びを深める場となっており、家庭科の学習が生活と結びついていることが実感できる。</li> </ul>
会長	<p>他に家庭について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>次に、外国語について御意見を願います。</p>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの教科書も、生徒の興味・関心を強く引き出す明るい紙面構成で外国語学習を通じたコミュニケーションへの期待を高める工夫がされている。これは、主体的・対話的で深い学びに直結する入口になっていると感じる。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市における学力調査の結果から、『対話力の向上』が課題となっている。教育出版の「Activities Plus」では、既習の言語材料を用いてさまざまな話題における応答例が示されている。また、「Let's Use」は、学んだ文構造や文法事項を含む対話文等を自由に入れ替えられるようになっており、継続的にペアによる口頭練習に取り組めるよう工夫されている。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光村図書においては、「話すこと」への抵抗を少なくするために、帯教材で話型を身に付け、「Let's Talk!」で即興スピーキングの力を育てる系統的な学習ができる。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三省堂では、事前に発表の練習をするステップが設けられており、聞き手にうまく伝えるために、話し方をどのように工夫できるか、モデル動画などを参考に考えることもできる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開隆堂では、豊富なビジュアルエイド、読むための3つのステージ構成、読み取りのための3種類の問いが、能動的な読み手の育成に効果的であると感じた。普段の授業からまとまりのある英文を読む訓練にもなる。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍は、スモールステップで読解力を育成するために、定番のスピーチ、伝記、説明文、物語に加えて非連続型テキストなどが掲載され、文書のタイプによって設問を変えながら、ラウンドリーディングの仕組みが取り入れられている。このようなアプローチなら、目的・場面・状況に応じた実用的な英語を身に付けられるのではないかと感じた。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小中接続期の学び」や「特別支援教育」への視点について、各社の配慮はどうか。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓林館では、中学校への学習をスムーズに接続するために入学</li> </ul>

A 委員	<p>から1年生のUnit5までを小中接続期として、小学校での既習事項を踏まえた文法配列や既習語彙の扱いをわかりやすく示している。Unit6から「読むこと」「書くこと」が多く取り入れられているといった配慮がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各社ともに、学習の流れがわかりやすいように情報のまとまりごとに余白や線で区切られていたり、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインが取り入れられたりなどの特別支援教育への配慮もある。</li> </ul>
会長	<p>他に外国語について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p>
会長	<p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>最後に、道徳について御意見を願います。</p>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の教科化については、2011年のいじめがきっかけの一つだったと記憶している。報告書にもあったが、どの会社も「いじめ問題」や「いのち」をテーマにした題材が取り上げられていた。いじめの問題はニュースでもよく目にするし、学校でも日常的に考えさせなければならぬと課題だと考える。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめをテーマとした題材の内容項目は様々だが、多面的に考えられる題材が良いと思う。「ネットいじめ」や「誹謗中傷」、「SNSトラブル」など情報モラルに関する現代的課題についても、これからは必要不可欠なテーマであると感じる。そういった点では、どの会社も扱っていたので良かった。</li> </ul>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>学研では、これからの時代において考えていかなければならない課題であるSDGs、多様性、キャリアといった近年よく耳にする事象をユニット学習とし、大きなテーマでつないでいたのが良いと感じた。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領には「主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための道徳性を養う」とある。私は、こうした道徳性を養うことができる教科書が望ましいと考える。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本教科書は読み物教材だけでなく、自分自身への「問い」から「見方・考え方」を深める教材があったり、「ウエルビーイングカード」で生徒自身が大切にしている価値を意識したり、生徒同士で議論したりすることができるのは良いと思う。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳的価値の理解を、自分との関わりで深め、多面的・多角的に考えられるように指導することが求められている。調査報告にもあったが、学研が教材の前に主題名をあえて置かず、多様な考えを引き出し、自らの課題を発見する力を育てる工夫は良いと感じた。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の主体的な学びとするため、生徒自らが道徳的価値を実現するための課題や目標、道徳性を養うことの良い点や意義について考えることができるように各社工夫されていた。光村図書は全学年で何を学ぶのか、どのように学ぶのかを示したり、22の内容項目をキーワードとして示したりすることで、問いを重ねながら1年間で学ぶ題材を示していた。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社デジタルコンテンツ等充実しているのが良い。東京書籍が</li> </ul>

<p>会長</p>	<p>NHK for Schoolの番組とリンクできたり、日本文教出版は道徳ノートがデジタル活用できたりするのは生徒の興味関心を高めたり、ICTの効果的な活用として良い工夫だと感じた。</p> <p>他に道徳について、意見はあるか。なければ、協議を終了する。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
<p>会長</p>	<p>以上、12種目の教科書についての協議が終了した。</p>
<p>会長</p>	<p>これより、投票による選定に入る。</p> <p>ここから先については、非公開とする。傍聴者の方は、退席をお願いします。</p> <p>(傍聴者 退席)</p>
<p>会長</p>	<p>以上で、選定を終了する。</p> <p>事務局は傍聴人の中をお願いします。</p> <p>(傍聴者 入場)</p>
<p>会長</p>	<p>続いて、事務局より事務連絡をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の選定委員会の選定を受け、今月の定例教育委員会にて令和7年度使用中学校教科用図書が採択され、県教育委員会へ報告することとなっている。</p> <p>その後、各学校へ採択結果を通知したいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>質問、意見はあるか。</p> <p><b>【質問、意見なし】</b></p>
<p>会長</p>	<p>皆様の御協力により、円滑に終了することができた。これで議長の任を解かせていただく。</p>
<p>司会</p>	<p>会長、円滑な議事進行に感謝申し上げます。</p>
<p>司会</p>	<p>以上をもちまして、令和6年度 第3回第19採択地区教科用図書選定委員会を終了する。</p>